みやぎ県議会だより

平成29年
２月定例会特集

第121号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

第359回宮城県議会（2月定例会）は、平成29年2月17日から3月16日まで28日間の会期で開かれた。1兆2250億円の29年度一般会計当初予算案など計147議案を原案通り可決した。29年度は、県震災復興計画で4年間と定めた再生期の最終年度。提案理由説明で村井嘉浩知事は「次の発展期につなげていく正念場の年。職員と共に一意専心の気持ちで早期復興を目指す」と力強く決意を語った。代表質問や一般質問では、被災者支援や慶長遣欧使節船の復元船「サン・ファン・バウティスタ」の老朽化に伴う修理・保存などを巡り活発な議論が展開された。

被災者生活再建加算支援金制度

申請期間延長求める

県 30年度以降も継続意向

東日本大震災の住宅被害に対する被災者生活再建支援金のうち、新築や補修など再建方法に応じて支給される「加算支援金」が、平成30年4月に申請期限を迎えるため、議員から「宅地供給が30年度以降にずれ込むことが想定される」と、加算支援金の申請期間延長を求める質問があった。

知事は、住宅の被害程度に応じて支給される基礎支援金は、今回を最後に30年4月まで申請期限を1年延長したことを説明。「加算支援金の申請期限は、既に30年4月10日まで延長されているが、申請件数や宅地供給事業の進捗状況など、市町村の事業等を考慮すると、再延長を視野に入れた対応が必要」と、30年度以降も制度を続ける可能性があることを示した。

被災者支援の課題として議員から「県は被災地域福祉推進事業や地域コミュニティ事業の継続により、地域再生を支援するとしているが、被災者の環境は複雑・多様化の度合いが深まっている」と、従来より厚みのある予算措置と人的支援を要望する質問があった。

知事は「災害公営住宅整備の進捗に合わせ『地域コミュニティ再生支援事業』の予算を大幅に増額計上しているほか、石巻圏域に、その活用をサポートする『コミュニティ支援員』を新たに配置する。今後も市町村や社会福祉協議会、NPOなど関係団体との連携を一層強化しながら、支援していく」と答弁した。

また仮設住宅に長期間居住する子育て家庭の課題と、その解決策を尋ねる質問もあった。

保健福祉部長は「団体間のネットワークを一層強化するなど、行政だけでは対応できないきめ細やかな活動を展開しているNPO等を支える取り組みを今後とも継続し、安心して子育てができる社会環境の整備に努めていく」と答えた。

２月定例会の本会議

放射性廃棄物の混焼処理方針

「住民合意どう得る」

知事 説明尽くす努力続ける

東京電力福島第1原発事故の放射性物質で汚染された国の基準（1キログラム当たり8000ベクレル）以下の廃棄物処理方針に対し、議員から「混焼、堆肥化、すき込み、炭化の処理方法のうち、県が混焼を最善とした理由は何か」と問う質問があった。

環境生活部長は「県では、焼却のほか、ペレット化、圧縮成型、炭化・熱分解等について検討した。いずれも減容化の点で一定効果があるが、一時保管解消には、単なる減容化でなく、最終処分まで見据える必要や、約3万6000トンの廃棄物を安全、迅速、大量に処理する必要があり、県内自治体の焼却施設を活用し、混焼処理を進めることが最適と考えた」と説明した。

議員からは「混焼に対し、焼却場や処分場の周辺住民の大多数が反対している。市町村長会議で焼却方針が決定されても、住民合意が得られたとは言えず、納得と合意をどう考えるのか」とただす質問もあった。

知事は「市町村長会議は、一般廃棄物の処理責任を有する市町村と、広域調整を担う県の代表者が一堂に会する場であり、ここでの意見交換を通じ解決策を見いだしたい。この問題については、どのような処理方法を選択したとしても、不安を抱く方はいると思うので、最後には各首長の決断が必要になる。そこに至る経緯も含め、住民に説明を尽くす努力をすべきものと考えている」と理解を求めた。

質問者と主な質問項目

○代表質問（3人）
▽佐藤光樹（自由民主党・県民会議）村井知事の政治姿勢について▽藤原のりすけ（みやぎ県民の声）知事の政治姿勢と多選問題について、3・11東日本大震災の復興6年目の課題について、宮城県地方創生総合戦略の課題について▽三浦一敏（日本共産党宮城県会議員団）村井知事の県政運営の検証と復興の問題点について、女川原発再稼働の是非と実効性ある避難計画について、上工下水・みやぎ型管理運営方式について、高校入試制度について、サン・ファン・バウティスタ号の対応について

○一般質問（17人）
▽天下みゆき（日本共産党宮城県会議員団）地域循環型経済への転換めざして、塩竈市の諸課題について、宮城県の医療をめぐる諸問題について▽仁田和廣（自由民主党・県民会議）仙台塩釜港の国際戦略港湾化推進について、塩釜地区の諸課題について▽横山のぼる（公明党県議団）障害者支援政策の諸課題について▽庄田圭佑（自由民主党・県民会議）海外販路拡大と県内企業海外進出拡大に向けて、インバウンド誘客拡大と仙台空港周辺活性化に向けて、第5世代量子線がん治療装置導入に向けて▽熊谷義彦（社民党県議団）放射能汚染物の処分について、農業問題について、知事のボランティア精神について
▽渡辺勝幸（自由民主党・県民会議）宮城県震災復興計画「再生期」の総仕上げについて、ベトナムにおける宮城県産品販路開拓支援事業等について、国語教育の充実強化と児童生徒の安全・安心な社会の構築について、公益経済の観点に基づく中小企業・小規模事業者の新たな取り組みの支援について▽福島かずえ（日本共産党宮城県会議員団）復興事業を検証し課題の解決を、男女共同参画基本計画改定にあたって▽只野九十九（自由民主党・県民会議）宮城の米づくりについて、小中学校の統廃合について、県の医師確保と長寿対策について▽境恒春（みやぎ県民の声）国際社会における宮城県の役割について、第四次産業革命と地方創生について、仮設住宅における子育て世帯への支援について、気仙沼・本吉地域における企業誘致について、気仙沼市や南三陸町で勤務する一般職の県職員採用枠の導入について、本県における卓球競技への支援について
▽藤倉知格（自由民主党・県民会議）復元船サン・ファン・バウティスタ号の存続に向けて、観光と美しい景観の創出について▽内藤隆司（日本共産党宮城県会議員団）放射性廃棄物の「処理」について、生活困窮者支援について、上工下水一体官民連携運営について、宮城県の地域経済の現状と「地域再生」に向けた取り組みについて▽長谷川敦（自由民主党・県民会議）地域医療をめぐる課題について、本県における地方創生について、県北地域の交通網整備について、産業集積の促進について▽中沢幸男（自由民主党・県民会議）東北放射光について、観光振興に向けた取り組みについて、防災力向上のための積極的な取り組みについて、介護施設のボランティア活用について、水素エネルギーについて、障害者雇用対策について、いじめ対策と教育問題について
▽鎌田さゆり（みやぎ県民の声）県財政の方向観について、保育・介護職の人材不足課題と収入増対策について、教職員処遇改善について、地方独立行政法人宮城県立こども病院について、七北田川河川整備計画策定について、8000ベクレル以下の放射性廃棄物の処理方針について▽本木忠一（自由民主党・県民会議）「震災復興」と「地方創生」について、「防災道路ネットワーク」の構築について▽佐々木喜藏（自由民主党・県民会議）慶長遣欧使節船サン・ファン・バウティスタ号を保存することについて、青少年健全育成のための法案について、財政規律について▽庄子賢一（公明党県議団）被災者支援の諸課題について、観光振興への取り組みについて、医療と医療的ケアの充実に関して、今後の水道事業について

議決した議案等

発　議＜1件＞
○宮城県議会における政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

決　議＜1件＞
○北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議

意見書＜7件＞
○指定給水装置工事事業者への更新制の導入等を求める意見書
○無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書
○今後の通商交渉に関する意見書
○政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書
○性犯罪等被害者を支援するワンストップ支援センターの設置等を求める意見書
○高齢者も若者も安心できる年金制度の実現を求める意見書
○復旧・復興事業の総仕上げのための人材確保を求める意見書

可決・承認・同意した知事提出議案＜138件＞
○平成29年度宮城県一般会計予算
○食品衛生法施行条例の一部を改正する条例
○安全・安心まちづくりに関する基本計画の策定について
○工事請負契約の締結について（七北田川護岸等災害復旧工事（その7））
○副知事の任命につき同意を求めることについて　ほか

採択した請願＜1件＞
○仙台パワーステーション建設問題に関する公聴会の開催を求めることについて

不採択となった請願＜1件＞
○東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除ならびに介護保険利用者負担減免に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

県産品

海外販路の拡大策は

知事 トップセールスに意欲

産業振興に関連し、議員からは県産品海外販路拡大に向けて「国が農林水産物の輸出強化を推進しており、わが県も積極的に取り組むべきだ」との指摘やベトナムなどの東南アジア諸国との交流促進を求める質問もあった。

県産品海外販路拡大について知事は「県では、信頼関係のできた海外バイヤーの招聘事業や、輸出基幹品目販路開拓事業による共同プロモーション、隣県との連携方策を探る取り組みなどを実施してきた。今後とも、日本貿易振興機構（ジェトロ）などの支援機関や『三陸ブランド』プロジェクトなどの複数県にまたがる取り組みとも連携しながら、輸出拡大に努めていく」と決意を語った。

ベトナムとの交流促進に関連して知事は「県内経済界の方々とともに、私をはじめとした幹部職員が先頭に立ってベトナムを訪問し、現地政府との関係構築を図ることは、県産品のPRに大きな効果が期待できる」とし、可能な限りトップセールスを行う意欲を示した。

慶長使節船復元船サン・ファン・バウティスタ

修理して長期保存を

県「腐朽著しく困難」と認識

県慶長使節船ミュージアムに係留されている復元船サン・ファン・バウティスタ＝石巻市

石巻市の県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）にある木造復元船サン・ファン・バウティスタの老朽化に伴い、「今後のあり方検討委員会」が平成32年まで展示後、解体方針を提言したことに関連し、議員から「国内唯一の本格的な洋式木造帆船で文化的価値は高い」「世界では耐用年数を超えて展示、就航している木造船が存在する」など、修復と長期保存を求める質問が相次いだ。

知事は「復元船は、文化的・歴史的に貴重なものと認識し、何とか残したいとの思いで、長期保存の可能性について専門家や有識者に広く意見を求めた」と説明。「しかし、東日本大震災の大津波で、船の背骨に当たるキールが曲がるなどの損傷を受けたこと、費用の問題だけでなく、船大工の確保が極めて難しいこと、腐朽、強度低下から船体が修復に耐えられない可能性があることなどから本格的に修復し、長期保存するのは困難」と認識していることを明らかにした。

上工下水・みやぎ型管理運営方式

水道事業運営権民間移譲慎重に

県の広域水道と工業用水道、下水道の3事業を一体化し、運営権を民間企業に与える「上工下水・みやぎ型管理運営方式」に対し、議員から「公共財産である水道事業を、民間企業に売り渡す危険性をはらんでいる」「水道事業は住民に安全で安心な水を安定的かつ安価に提供する義務がある」などと、慎重な対応を求める意見があった。

知事は「みやぎ型管理運営方式は、民間の経営ノウハウや資金、技術力を最大限活用してコスト削減と更新投資の適正な抑制を図り、経営の安定化を実現するものだ」と説明。県民やユーザー企業の料金上昇への懸念払しょくのため「料金設定を引き続き行うなど、県がこれまで通り主体的に運営し、公共性を担保する」と理解を求めた。

予算特別委員会

３月６日と７日、委員12人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成29年度宮城県一般会計予算等を可決した。

総括質疑者　髙橋伸二、細川雄一、安部孝、畠山和純（自由民主党・県民会議）佐々木功悦、ゆさみゆき、太田稔郎（みやぎ県民の声）角野達也（日本共産党宮城県会議員団）遠藤伸幸（公明党県議団）岸田清実（社民党県議団）菅間進（無所属の会）吉川寛康（21世紀クラブ）

常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。

○総務企画委員会
審査議案　個人情報保護条例等の一部を改正する条例など18議案及び請願１件

○環境生活農林水産委員会
審査議案　工事請負契約の締結について（松岩漁港防潮堤等災害復旧工事）など29議案

○保健福祉委員会
審査議案　国民健康保険運営協議会条例など９議案

○経済商工観光委員会
審査議案　指定管理者の指定について（宮城県御崎野営場）など３議案

○建設企業委員会
審査議案　工事請負契約の締結について（一般県道釜谷大須雄勝線尾の崎橋災害復旧工事）など49議案

○文教警察委員会
審査議案　工事請負契約の締結について（宮城県石巻北高等学校校舎等改築工事）など９議案及び請願２件

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、被災地の諸課題と復旧・復興事業の促進のため、２月上旬に被災沿岸市町に出向き、復旧・復興の進捗状況等の現状を確認しながら、各市町議会議員との意見交換を行った。

津波で被災した旧気仙沼向洋高を視察する特別委メンバー

議会改革推進会議

これまで政務活動費の在り方に関する議論を行い、昨年11月と本年２月に議長あてに中間報告書を提出した。このうち「会派及び議員の責務」と「公開の在り方」について条例に規定することとし、「宮城県議会における政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」を今定例会で可決した。この一部改正で、「会派及び議員の責務」として、政務活動費の使用について、会派及び議員の県民に対する説明責任を規定するとともに、平成29年度に交付される政務活動費から、従来の「収支報告書」に加えて、領収書等もインターネット上で公表することとなった。

議長記者会見

２月定例会閉会日の３月16日、中島源陽議長が記者会見を行った。

２月定例会を振り返って中島議長は「東日本大震災から６年が経ち、会期中には、４度目の『みやぎ鎮魂の日』を迎えた。今定例会では、被災地の一日も早い再生に向け、震災関連分を含めて総額で１兆2250億円となる平成29年度当初予算を議決したほか、代表・一般質問においては、被災地の地域コミュニティの再生や心のケアなどの被災者支援についても活発な議論が交わされたが、県民の方々が安心して暮らせるよう、県議会として取り組んでいきたい」と述べた。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。

◇次回コンサートの開催予定
- **日時**／平成29年６月16日（金）午後０時15分～45分
- **場所**／県議会庁舎１階ラウンジ
- **出演**／兎澤瞳，林崎真理子（フルート、クラリネット演奏）

●傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、自由に傍聴できます。
▷お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課TEL022(211)3571

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会　検索

●議会中継のご案内
４月からスマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけるようになりました。
なお、生中継は６月定例会からとなります。
ＱＲコードのアクセスはこちらから。

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.lg.jp